

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	利便性が高く安全で安心なまちづくり（その2）（重点計画）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	熊取町												
計画の目標	公共下水道整備を実施し、利便性が高く安全で安心なまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,122	A	1,122	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	・下水道処理人口普及率を77.0%（H27当初）から80.0%（H31末）に向上させる。 下水道処理人口普及率（%） 供用開始告示済区域内人口（人） / 総人口（住基人口）（人）      H27当初 : 34,193人 / 44,388人	77%	79%	80%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	熊取町	直接	熊取町	管渠(汚水)	新設	3-10 処理分区 汚水 管渠整備事業	汚水管 = 200mm L = 150m	熊取町						17	-	
	A07-002	下水道	一般	熊取町	直接	熊取町	管渠(汚水)	新設	4-14 処理分区 汚水 管渠整備事業	汚水管 = 200mm L = 102m	熊取町							17	-
	A07-003	下水道	一般	熊取町	直接	熊取町	管渠(汚水)	新設	4-15 処理分区 汚水 管渠整備事業	汚水管 = 200~300mm L = 567m	熊取町							187	-
	A07-004	下水道	一般	熊取町	直接	熊取町	管渠(汚水)	新設	4-15 処理分区 汚水 管渠整備事業	汚水管 = 200~300mm L = 511m	熊取町							144	-
	A07-005	下水道	一般	熊取町	直接	熊取町	管渠(汚水)	新設	4-33 処理分区 汚水 管渠整備事業	汚水管 = 200~300mm L = 2,440m	熊取町							300	-
	A07-006	下水道	一般	熊取町	直接	熊取町	管渠(汚水)	新設	4-34 処理分区 汚水 管渠整備事業	汚水管 = 200mm L = 1,040m	熊取町							216	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	熊取町	直接	熊取町	管渠(汚水)	新設	下水道施設計画策定	施設計画策定(事業計画区域)	熊取町						153	-	
	A07-008	下水道	一般	熊取町	直接	熊取町	管渠(汚水)	新設	汚水ます設置	汚水ます設置工 50箇所	熊取町						20	-	
	A07-009	下水道	一般	熊取町	直接	熊取町	管渠(汚水)	新設	4-30処理分区 汚水管渠整備事業	汚水管 = 200mm L= 446m	熊取町						68	-	
											小計						1,122		
											合計							1,122	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 熊取町で実施	事後評価の実施時期 令和3年2月
	公表の方法 熊取町ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	良好な水環境の保全に資する事業として、計画的かつ効率的な下水道整備区域の拡大を実施したことにより、令和元年度末の下水道処理人口普及率が81.6%となり、目標値を1.6%上回り、計画目標の達成とともに公共用水域の水質保全が図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	令和元年度末の公共下水道整備済面積が607.3haに拡大した。
特記事項（今後の方針等）	
平成27年度から令和元年度末までの5年間で社会資本整備計画に基づく下水道事業を実施し、定量的指標（下水道処理人口普及率）の目標を達成することができた。今後は、熊取町下水道ビジョン（経営戦略）に基づき、更なる計画的で効率的な下水道整備に取り組んでいく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	80%
	最終実績値	82%
		整備計画対象事業の効率的な実施による要因

計画の名称	利便性が高く安全で安心なまちづくり (その2)		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	熊取町

